明治時代の４人の文豪 ―坪内逍遙・小泉八雲・尾崎紅葉・夏目漱石―

日本の近代文学は、江戸時代以来の文化と、新たに西洋から流入した文化の双方から影響を受けました。ここでは、新宿区域に住んだ小泉八雲（ラフカディオ･ハーン）、坪内逍遙、尾崎紅葉、夏目漱石を取り上げ、年表で概観します。４人は直接的な交流はあまりありませんでしたが、お互いの存在は意識していたようです。

元号（西暦）	坪内逍遙	小泉八雲	尾崎紅葉	夏目漱石
嘉永３（1850）		ギリシア、レフカダ島に生まれる。		
安政６（1859）	美濃国加茂郡大田村（現・岐阜県美濃加茂市）に生まれる。			
慶応２（1866）		事故で左目を失明		
慶応３（1867）			江戸芝中門前町（現・港区浜松町）に生まれる。	江戸牛込馬場下横町（現・新宿区喜久井町）に生まれる。
明治２（1869）		アメリカに渡り、シンシナティで職を転々とする。		
明治７（1874）		新聞記者となる。1877 年にニューオーリンズへ。		
明治 16（1883）	東京大学文学部哲学政治学及理財学科卒業後、東京専門学校（現・早稲田大学）講師になる。		東京大学予備門入学。	
明治 17（1884）				東京大学予備門に入学。同級に正岡子規、中村是公、芳賀矢一らがいた。
明治 18（1885）	評論『小説真髄』を著し近代文学の写実主義を主張、小説『（一読三歎）当世書生気質』によってその主張を具体化する。		石橋思案や山田美妙に出会い、日本初の文学結社「硯友社」を興し、回覧雑誌「我楽多文庫」を創刊。	
明治 20（1887）	読売新聞社客員	マルティニーク島に滞在		
明治 21（1888）			帝国大学法科大学政治科に入学。	
明治 22（1889）	読売新聞文学関係主筆	ニューヨークで執筆活動。	国文科に転科。読売新聞社入社。牛込北町に転居。	
明治 23（1890）	大久保余丁町 112 番地（現・新宿区余丁町）に居を構える。	雑誌特派員として来日。8 月、松江の島根県尋常中学校・同師範学校に英語教師として赴任。	大学を退学。	帝国大学文科大学英文学科入学。
明治 24（1891）	雑誌『早稲田文学』創刊。	熊本の第五高等中学校に転任。	牛込横寺町 47 番地に転居。ここを「十千万堂」と号す。泉鏡花が門下に入る。	
明治 26（1893）				帝国大学文科大学英文学科を卒業、大学院に進学。
明治 27（1894）		神戸クロニクル社の論説記者となる。		
明治 28（1895）				愛媛県尋常中学校（現・県立松山東高校）に英語科教師として赴任。
明治 29（1896）	早稲田中学の創立に参画、早稲田中学教頭となる。	入籍と帰化が認められ、小泉八雲と改名。帝国大学文科大学（現・東京大学）の講師となり市谷富久町 21 番地（現・新宿区富久町）に住む。		熊本の第五高等学校講師として赴任。結婚。
明治 30（1897）			「金色夜叉」連載開始、人気作となる。	
明治 33（1900）				
明治 35（1902）		大久保村西大久保 265 番地（現・新宿区大久保）へ転居。		文部省から英語研究のため２年の英国留学を命ぜられる。
明治 36（1903）		東京帝国大学講師の解雇通知を受け、学生たちによる留任運動が起こる。	胃がんのため、自宅で逝去。「金色夜叉」は未完となる。	帰国。第一高等学校英語嘱託、東京帝国大学文科大学英文学科講師(八雲の後任)の辞令を受ける。
明治 37（1904）	八雲からの日本文学・演劇に関する質問に対し、英語の書簡で返答。	早稲田大学文学科講師となる。心臓発作により自宅で逝去。		
明治 38（1905）				「吾輩は猫である」を雑誌「ホトトギス」に発表し、好評を博す。（以後、同誌に不定期に発表）
明治 39（1906）	日本の新劇運動のために島村抱月らと文芸協会を設立。			
明治 40（1907）				教職を辞し、朝日新聞社入社。職業作家となる。牛込区早稲田南町７番地に転居。「漱石山房」はこの家を指すようになる。
明治 42（1909）	余丁町の自宅敷地内に文芸協会演劇研究所を開設。１期生に松井須磨子がいた。			
大正２（1913）	島村抱月と松井須磨子が芸術座を開設して独立したため、研究所は解散。			
大正４（1915）	早稲田大学を退任してからは、『シェークスピア全集』の完訳作業を行う。			
大正５（1916）				胃潰瘍のため自宅で逝去。連載中の「明暗」は未完となる。
大正９（1920）	熱海に転居。			
昭和３（1928）	古希の祝いと『シェークスピア全集』の完訳を記念して早稲田大学内に坪内博士記念演劇博物館が創設される。			
昭和 10（1935）	熱海の自宅で逝去。			

（　　）は、新宿区域に住んでいた時期。（漱石の学生時代は下宿等している時期もある）